

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月12日(2009.11.12)

【公開番号】特開2008-93221(P2008-93221A)

【公開日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-016

【出願番号】特願2006-279430(P2006-279430)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月25日(2009.9.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

賞球ユニットによる遊技球の払い出しを制御する払出制御用マイクロプロセッサが実装された払出制御基板を備えたパチンコ遊技機であって、

前記賞球ユニットには、少なくとも、

電氣的駆動源である払出モータと、

回転動作によって遊技球を 1 球ずつ受け入れて送り出すスプロケットと、

該スプロケットの回転軸に固定され、且つ、外周部分に検出部位が設けられた円盤と、

前記払出モータのモータ軸の回転を前記スプロケットの回転軸に伝達する複数のギヤにより構成されたギヤ群と、

前記円盤の外周部分に設けられた検出部位を検出する回転角スイッチと、

を設け、

前記払出制御用マイクロプロセッサは、

賞球払出指令信号に基づいて前記払出モータを駆動する払出モータ駆動制御手段と、

前記回転角スイッチが前記円盤の外周部分に設けられた検出部位を検出したか否かを判定する検出部位検出判定制御手段と、

該検出部位検出判定制御手段により前記回転角スイッチが前記円盤の外周部分に設けられた検出部位を検出したと判定されると、前記ギヤ群のバックラッシュによる前記スプロケットの逆回転によって前記回転角スイッチの誤検出を防止するために予め設定されているバックラッシュ吸収時間だけ前記払出モータが正回転した前記スプロケットの回転位置を当該スプロケットの定位置に設定するスプロケット定位置設定制御手段と、

該スプロケット定位置設定制御手段により前記予め設定されているバックラッシュ吸収時間だけ前記払出モータが正回転した前記スプロケットの回転位置を当該スプロケットの定位置に設定したあと、遊技球の静電放電によるノイズの影響を防止するために、続けて前記払出モータ駆動制御手段により前記払出モータが駆動されて前記円盤の外周部分に設けられた次位の検出部位が前記回転角スイッチに検出されるまでの期間内の設定時間であって、予め設定されているスプロケット定位置設定無効時間だけ当該スプロケット定位置設定制御手段による設定を無効とするスプロケット定位置設定無効制御手段と、

を備えることを特徴とするパチンコ遊技機。

## 【請求項 2】

請求項 1 に記載のパチンコ遊技機であって、  
前記スプロケット定位置設定制御手段は、前記賞球ユニットによる遊技球の払い出しが  
終了した際に行われることを特徴とするパチンコ遊技機。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明の請求項 1においては、ノイズの影響を受けてもスプロケットの回転位置を正しく管理することができる。請求項 2においては、球がみが発生していない状態で払出モータのモータ軸の回転を確実に開始することができる。